

かすや未来創造カフェ News Letter



かすや未来創造プロジェクト 「かすや未来創造カフェ」@福岡県立魁誠高校 を開催しました！

粕屋町では、現在、令和7年度から始まる新たなまちづくりの計画である「第6次粕屋町総合計画」の策定に向けて準備を進めています。町では、アンケート調査やワークショップの実施、審議会での議論等を通じて、多くの方々の声を反映した計画になるよう、取り組んでいます。

この取り組みの一環として、粕屋町にある唯一の高校である福岡県立魁誠高校にて、「かすや未来創造カフェ」を開催しました。全3回にわたって実施したイベントでは、高校生みなさんが、自分たちの日常生活の気づきの中から、今の粕屋町の良いところや悪いところを分析し、未来の粕屋町への想いを込めたキャッチフレーズを考え、箱田町長に想いを込めたプレゼンテーションを行いました。

今回のニュースレターでは、この「かすや未来創造カフェ」の取り組みの様子をお伝えします！

「かすや未来創造カフェ」とは？

令和6年9月・10月に3回にわたって開催した「かすや未来創造カフェ」は、あたらしい総合計画の策定のために、未来の粕屋町のまちづくりを担う、若い世代のみなさんから意見を収集する目的で行いました。

今回は、魁誠高校のみなさん21名にご参加いただき、放課後の時間を使って、未来の粕屋町について様々な角度から考えました。

【第1回：まちの未来の姿を示すキャッチフレーズを考えよう！】



第1回では、「粕屋町の良いところ・悪いところ」、「未来の粕屋町の姿」を考え、これらを踏まえ、未来の粕屋町への想いを込めた「まちのキャッチフレーズ」を考えました。

【第2回：めざすまちの姿を実現するために必要な取り組みについて考えよう！】

第2回では、第1回で考えたまちのキャッチフレーズを実現するために必要な取り組みを考えました。その後、第3回の町長へのプレゼンに向け、ファシリテーターと一緒に、発表の準備を行いました。



【第3回：みんなの考えを町長にプレゼンしよう！】



各班緊張しながらも、立派にプレゼンを成功させました！

町長からは各班の提案に対し、ねぎらいの言葉と共に、あたたかいコメントをいただきました！

最後は町長と一緒に記念撮影！みなさんにいただいた意見は新しいまちづくりにしっかり生かしてまいります！

キャッチフレーズと併せて、様々な年代の人たちに伝わりやすいデザインもみんなで一緒に考えました！

高校生の考えた「まちの未来の姿を示すキャッチフレーズ」



- 笑顔 = 子どもからお年寄りまで町民全員が笑顔で過ごし、今後もここで住みたいと思ってくれることを表現している。
- 輝く = 街灯などの町の設備的な明るさ、町民の雰囲気明るさがより強くなって欲しいことを表現している。
- ベッドタウン = 仕事や学校から疲れて帰ってきてでも安心して過ごせるようなまちであり続けて欲しいことを表現している。



- 「In everyone's memory」とは・・・
 - 粕屋町が有名になって「みんなの記憶に残る」ようなまちにしたいという思いを込めた
 - ✓ 海外の人にも知ってほしいというメッセージを英語表記にすることで表現した
 - 「粕屋町」とは・・・
 - ふりがなをつけることで、「子供から粕屋町を知らない人にまで、粕屋のことを知ってもらおう」という思いを込めた



- remember KASUYA
 - 粕屋がいつでも頭のかたすみにいるような町
- ~帰りたくなる町~
 - どこへ行ったとしても粕屋町が落ち着く場所である



- 「かすや万博」とは、
 - かすやにある良いところを集めて、多くの人が集まって、粕屋町について体験する場所のことです。
- 「進み続ける」とは
 - 技術力も発展を続けていて、粕屋町の良いところも常に新しくなって、終わりが無いことを示している。

